

GCの空に「鯉のぼり」

今年は例年より暑い、そんな声がよく聞かれる5月です。今は秋。日本で言えば、「秋深き となりは何を する人ぞ」という季節でしょうね。朝はやや冷える日もありますが、日中はまだまだ日差しが強いです。そんな中でも子どもたちは元気に登校しています。5月14日には、「こどもの日集会」をしました。中学部の生徒たちがこいのぼりを披露する中、中3の酒井さんが鯉のぼりや兜・鎧などを飾る由来についてスピーチしました。その後、幼稚部の勝村先生が吹き流しの色について説明してくれました。「青は木、赤は火、黄色は土、白はお金、黒は水」を表しているそうです。残念ながら黒はなくて緑でした。(最近の吹き流しには黒は使っていないようです。)最後にみんなで「こいのぼり」を歌いました。今回は、私がトランペット(フリューゲルホーン)で伴奏しました。みんなの歌声が「集会広場の天井より高く」響きました。今年一年、GC校のみんなが元気にすくすくと育ちますように!



授業参観

5月14日には、授業参観、そして保護者会総会を実施しました。



1時間目に実施した授業参観には、多数の保護者の皆様にお越しいただき、本当にありがとうございます。私も各教室を回りましたが、子どもたちの生き生きとした発表が聞こえるクラス(中にはお母さんの顔が見えたたん、ハイっと元気に手を上げた子もいましたよ)また、笑いがあり先生と生徒の和やかなやり取りが聞こえるクラス、そして真剣に問題を解くクラス、一生懸命辞書を引いているクラスなど、それぞれの学年に応じた素晴らしい授業が展開されていました。日本の学校に決して引けを取らないと感じました。次回は11月19日です。お楽しみに。

保護者会総会



10時から開催された保護者会総会にも多くの方が参加してくださいました。今回は特に安藤運営委員長様のあいさつが印象に残りました。諺に「井戸を掘った人のことを忘れるな」とありますが、このゴールドコースト校の創成期のお話は大変胸を打ちました。わが子のために、同じ環境にある人たちが手を取り合って手づくりで作り上げてきた学校であることは今も同じです。もともと学校があってそこに通わせるという感覚でなく、保護者全員が当事者意識をもち、みんなで補習校を盛り上げていく、それがGC校のよさであり、伝統ですね。

お知らせ



7月30日はオールセインツ校Feteのため 休校です。
その補講を、6月4日と9月10日に実施しますので、よろしく
お願いします。補講日と理科学習日は下校時刻が違います。 →
6月 4日 普通授業、午後補講 2 時間
6月11日 避難訓練、午後理科学習日

6月4日の補講日の日程は、通常通り

5校時: 12:50~13:30

6校時: 13:35~14:15 です。

6月11日の理科学習日の日程は、準備や片付けのため

5校時: 12:55~13:40

6校時: 13:45~14:30 となります。

海外子女文芸作品コンクールのご案内

海外子女振興財団主催第 37 回海外子女文芸作品コンクールの案内をします。

募集要項は海外子女教育振興財団のホームページをお読み下さい。昨年も私たちの補習校から入賞者を出しましたが、今年も入賞できるよう、皆さんの力作を楽しみにしています。

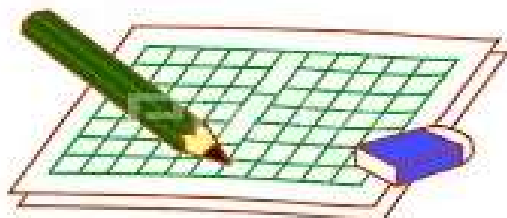
補習校での締め切りは、1 学期の終業式の日、6 月 25 日です。整理後すぐに東京に送らなければなりませんので、締切日以後のものは残念ながら受付できません。

テーマは、海外生活を題材にしたものであれば自由で、ジャンルは、作文、詩、短歌、俳句の 4 部門です。ひとりで何部門でも応募できますが、作文と詩はひとり一点、短歌と俳句は一人 3 点以内です。作文の枚数は、小学生が原稿用紙五枚以内、中学生が 8 枚以内です。詩は小中ともに 3 枚以内です。補習校からは作文用原稿用紙（財団名が中央に縦に書かれている原稿用紙）と詩用（財団名が右下に横に書かれている原稿用紙）を各一枚と各部門応募用紙を配布します。不足の用紙は、海外子女教育振興財団のホームページからダウンロードして下さい。URL は、<http://www.joes.or.jp/bungei> です。

短歌と俳句は、所定の応募用紙に書いて下さい。

作文と詩には、応募票を原稿用紙の右上にホッチキスで留めて下さい。提出の際は、コピーを必ず自分で取っておいて下さい。入賞した場合には、「南十字星」用に原稿の提出をお願いする予定です。

（幼稚部の募集はありません）



全校朝会のスピーチから

4 月 30 日 [中 3 黒田汐莉さん]

皆さん、ご入学、ご進級、おめでとうございます。

新しい学年に入るときは目標を決めるのにぴったりな時期です。皆さんは今年度の目標はもう決めましたか。私は、今年中学 3 年生になって補習校での最後の 1 年を迎えたので、友達、先生方、そして皆さん達とたくさん楽しい思い出を作って、最高の一年にすることを目標にしました。運動会や文化祭などの学校行事はどれもあと 1 回ずつしかやれないので、一生懸命に頑張って、たくさんのいい思い出を作りたいです。その他にも毎週の授業を大切に、楽しく過ごせたらいいなと思っています。私はこの目標をいつも心掛けて、卒業式の時に「中学 3 年生は楽しい思い出であふれた一年だったな」と振り返られたらいいなと思います。

皆さんも「スポーツ頑張る」や「毎週漢字テストで百点を取る」など自分に合った目標を決めて、一生懸命その目標に向かって頑張りましょう。

5 月 14 日 [中 3 酒井杏奈さん]

先週の 5 月 5 日がこどもの日だったことは皆さん知っていますか。毎年この日が訪れると鯉のぼりや兜・鎧などを家の中に飾りますよね。でも、なぜこの 3 つのものが飾られることになったのか、一度は思ったことはありませんか。

最初に鯉のぼりの登場は江戸時代になってからだと言われています。鯉は清流だけでなく、沼や池などでも生きているほど生命力が強いため、子供の健康を願う象徴として使われています。兜や鎧も同じく江戸時代の頃からあり、こどもの日は邪気払いの日でした。梅雨の時期に入る前は病気になりやすかったので、邪気払いが必要だと考えられていたのです。江戸時代の武士にとっては、兜や鎧は身を守る大切なもので、外からくる災いも防いでくれる意味も込めて、家の中に鎧や兜を飾っていました。そこから子どもを「災害や災い・病気から救ってくれる」という願いが込められるようになり、こどもの日に兜や鎧を飾るようになりました。

皆さん、こどもの日の飾りの由来がわかったところで、毎年祝うこどもの日の印象は変わったでしょうか。